

平成 18 年 1 月 26 日

鋼構造委員会

委員長 依田 照彦 殿

(社)土木学会 調査研究部門

主査理事 龍岡 文夫

平成 18 年度 「重点研究課題（研究助成金）」募集について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥の段 お慶び申し上げます。

さて、調査研究部門では、平成15年度より調査研究委員会に対して重点研究課題（研究助成金）の募集を行って調査研究の推進と活性化を図っております。現在、土木学会では全部門での予算縮小を実行しておりますが、当部門では、調査研究の推進と活性化を更に推進するため、本年度も昨年と同様、4～5件前後（1件100万円程度）の重点領域研究の募集を行ないます。

つきましては、下記により募集を行いますので、ご応募をお願いします。

記

1. 実施要領：別紙のとおり
2. 提出期限：平成18年2月24日（金）
3. 提出先：土木学会 事務局 研究事業課長
（貴委員会担当の研究事業課 職員を経由でも結構です）

なお、過去の重点領域研究のリストを添付いたします。できれば比較的若手の研究者による応募を期待しております。

敬具

重点研究課題／既往の採択課題

年度	研究課題名	推薦委員会	代表者
H15	山岳トンネル事前調査・設計の合理化に関する研究	トンネル工 学委員会	中川浩二
	建設事業訴訟と計画策定過程のあり方に関する研究	土木計画学 委員会	土井健司
	環境共生型エネルギーの持続可能社会への適用に関する研究	環境工学委 員会	太田幸雄
	地価空間における火災防止と被害軽減のあり方ー韓国地下鉄火災事例よりー	地下空間研 究委員会	大西有三
	地震断層直上の社会基盤施設の防災性	地震工学委 員会	小長井一男
	洪水時における河道抵抗と河川地形変化の高精度予測技術に関する研究	水工学委員 会	細田 尚
	橋梁の構造健全度モニタリングに関する研究	構造工学委 員会	大島俊之
	「浮体橋の設計指針」最終版に向けての調査研究	鋼構造委員 会	渡邊英一
	公共事業のマネジメントシステムの再構築	建設マネジ メント委員 会	小澤一雅
H16	都市の資源循環システムの再構築計画に関する研究	環境システ ム、地盤	井村 秀文
	沖縄における流域管理と赤土流出抑制システムに関する研究開発	地球環境	池田 駿介
	公共政策デザイン-教育に関する調査研究	土木計画	萩原 亨
	沿岸域の防護・環境・利用の調和に向けての多分野連携に関する実践的研究	海岸	青木 伸一
	有明海における流れ構造の解明	水工学	矢野 真一 郎
	熱帯モンスーン域大河の河岸侵食機構の解明	水工学	風間 聡
H17	新潟県中越地震の斜面複合災害のモニタリングに関する研究 ーメカニズム、維持管理、景観、生態系、廃棄物等の総合的斜面工学からの検討ー	地盤工学委 員会	後藤 聡
	コンクリート標準示方書のアジア地域への展開戦略に関する研究	コンクリー ト委員会	前川 宏一
	鋼・合成構造標準示方書の作成	鋼構造委員 会	西村 宣男
	災害調査とその成果に基づくSocial Co-learningのあり方に関する研究	土木計画学 研究委員会	片田 敏孝
	地下空間浸水時の避難・救助システムに関する研究	地下空間研 究委員会	戸田 圭一
	環境と防災連携型の技術と制度	環境工学委 員会	松井 三郎

平成18年度

調査研究委員会への重点研究課題 研究助成

[実施要領]

1. 基本的な事項

(1) 趣 旨

本事業は、調査研究部門の事業計画にもとづき、社会のニーズに合致した学術・技術の調査研究を重点的に促進し、且つさらなる調査研究業務の活性化を図ることを目的として、優れた調査研究に対し助成を行うものである。

(2) 重点研究課題の対象

- ・ JSCE2005 の活動目標に掲げられている研究課題。
- ・ JSCE2005 には明示されていないものの、調査研究委員会において、新たな活動目標に位置付けられた重点研究課題。
- ・ 既存の調査研究委員会が複数連携して横断的に取組む研究課題。
- ・ 研究目的に以下の事項を含む研究課題。
 - 1) 新しい大学カリキュラムあるいはテキストに反映する。
 - 2) 新しい基準類を提案する。
 - 3) 現場の問題解決策を提案する。
 - 4) 新しい外部資金獲得の核とする。
 - 5) 新しい委員会設立（スクラップ&ビルド）の種とする。

(3) 助成対象者

調査研究部門の各委員会 委員長の推薦を得た者とする。ただし、代表研究者は、土木学会個人正会員とし、応募件数は1件とする。なお、同一委員長名で複数件の推薦ができるものとする。

2. 留意事項

(1) 募集・審査・通知

- ・ 「重点研究課題」研究助成を募集する。
- ・ 受理した申請書は、調査研究企画委員会に諮り、審議結果に基づき調査研究部門会議で助成対象課題を決定する。なお、必要に応じて調査（ヒアリング等）を実施することがある。
- ・ 重点研究課題研究助成の決定にあたり、調査研究部門会議は必要な条件を付することができるものとする。
- ・ 採・否ならびに助成額 および必要な条件については、調査研究部門 主査理事から代表研究者および推薦者(調査研究委員会委員長)に通知する。

(2) 助成額

- ・助成額は、1 件につき原則として 100 万円程度以下とし、4～5 件への助成を予定している。
- ・同一の調査研究課題に対する助成は、原則 1 ヶ年とする。

(3) 報告

- ・代表研究者は、調査研究の終了後 1 ヶ月以内に調査研究成果を取りまとめ、調査研究報告書（学会誌 1/2 ページの概要版を含む）を調査研究企画委員会（研究事業課長 宛）に提出する。なお、報告書（PDF 形式等電子ファイル）を土木学会ホームページに、また、概要版を土木学会誌へ掲載する。
- ・調査研究企画委員会は、助成期間中においても、必要により中間報告（支出を含む）を求めることがある。

(4) 研究助成金の使途

- ・研究助成金の使途の内訳は、人件費、資料費、調査費、旅費交通費、消耗品費、通信費、印刷製本費、借料・損料 等とする。なお、飲食費、謝金、論文投稿料、備品購入費は、研究助成金の対象としない。詳細は下記のとおりである。

重点研究課題助成 費目一覧

費 目	内 容	備 考
人件費	資料整理、実験、測定、実態調査、集計作業等の調査研究補助作業者に対する人件費	研究者本人、長期雇用に係るものを除く。
資料費	図書、文献、マイクロフィルム、写真等の資料購入	
調査費	アンケート調査、実験・試験、機械設計、プログラム開発等の一部または全部を外部に委託する際の経費、データ処理やシミュレーションを外部に委託する際の経費	
旅費交通費	日本国内での出張（調査・成果発表）に伴う交通費・宿泊費、海外渡航費用。	
消耗品費	一般事務用文具、分析・測定用の試薬・資料、試作品制作のための部材・部品、研究用車両の燃料等、1 点 10 万円未満の器具等消耗品費用	
通信費	電話、FAX、インターネット等に要する通信費、資料等の運搬費	
印刷製本費	調査票、調査マニュアル、研究関連の作成文書等の印刷費および文献・文書資料等の複写費	
借料・損料	実験・試験の機材、コンピュータ、車両等のリース費用、会議等の部屋代	

注：上記の規定によりませんが、該当項目等で不明な場合は研究事業課に相談のこと。

(5) 決定の取り消し等

- ・助成対象研究について、次の事項が発生したときは、助成の決定の全部もしくは一部を取り消し、またはその決定内容もしくは条件を変更する。

- ①研究助成金の他用途への使用。
- ②研究助成の決定の内容またはこれに付した条件への違反。
- ③決定後の事情の変更により、助成対象研究を行うことが困難となった場合。
- ・研究助成の決定を取り消した場合には、研究の当該取り消しに係る部分に関し交付した研究助成金について、期限を定めてその全部または一部を返還する。

(6) 事故等の届出

下記の各項目に該当する場合は、遅滞なく研究事業課に届け出ること。
調査研究企画委員会に対応を検討し、その後 代表研究者と協議する。

- ①助成対象研究が予定期間内に完了しないことが明らかになった場合。
- ②助成対象研究の遂行に重大な支障を及ぼす事故が発生した場合。
- ③所期の成果を収めることが困難になった場合。

平成18年度重点研究課題助成の募集について

1. 実施スケジュール

- (1) 募集期間は、平成18年1月27日(金)～平成18年2月24日(金)まで。
(研究事業課長に必着)
- (2) 助成対象研究の決定は、平成18年3月下旬頃の予定です。
- (3) 助成期間は、決定から平成19年2月末日(精算書類の提出期限)までです。

2. 申請手続き

- (1) 研究助成を希望する研究代表者は、所定の申請書(様式-調研企2)に必要な事項を記入の上、関係する調査研究委員会 委員長の推薦を得て、調査研究部門会議に提出するものとします。なお、申込み件数は、研究代表者1人(1研究グループ)あたり1件とします。
- (2) 申請書の提出先・問合せ先は、以下とします。

〒160-0004 東京都 新宿区 四谷1丁目無番地 (外濠公園内)

(社) 土木学会 研究事業課長 稲垣 一

TEL 03-3355-3433 FAX 03-5379-2769

E-mail : inagaki@jsce.or.jp

3. 研究助成金の支出手続き

- (1) 助成金は、調査研究委員会に配分する調査研究費とは別の会計コードで管理します。
- (2) 収支を管理する研究事業課担当者は、推薦者である委員長の調査研究委員会を担当する職員と同一です。

(社) 土木学会 調査研究部門
主査理事 龍岡 文夫 殿

[推薦者]

○ ○ 委員会
委員長 ○○ ○○

平成18年度「重点研究課題（研究助成金）」申請書

代表研究者名：_____（参画委員数：合計 _____ 名）
（所属機関、役職、年齢を併記のこと）

研究課題名：_____

研究の体制：_____
（所属機関、役職、年齢を併記のこと）

必要経費：合計 _____ 千円

内訳

人件費	:	千円（内容	）
資料費	:	千円（内容	）
調査費	:	千円（内容	）
旅費交通費	:	千円（内容	）
消耗品費	:	千円（内容	）
通信費	:	千円（内容	）
印刷製本費	:	千円（内容	）
借料・損料	:	千円（内容	）

研究目的

研究内容説明